



パレット

～認める 支える 分かち合う 個性かがやく参画社会～



日本女性会議2018 in 金沢大会PRの様子



日本女性会議2019さのプライベートの様子



小学生による標語・作文表彰式の様子



講演会の様子

【日本女性会議2018 in 金沢大会～日本女性会議2019さのプライベート】

『バトンが金沢から佐野へ』

加賀百万石の城下町として栄えた金沢市で昨年10月12日(金)～14日(日)まで、35回目の日本女性会議が開催されました。金沢は、駅、兼六園、金沢城など、佐野とは違った自然、文化、歴史、産業がある街です。そんな金沢市で開催された日本女性会議のオープニングは、金沢伝統芸能である素囃子、そして記念講演の講師は、地元金沢出身、人間国宝女性能楽師の松田若子さん、また、分科会は地元産業である農林業、水産業に関するものや、防災を含めたまちづくりに関するもの、政治への参画など金沢市あるいは石川県で活躍する講師やパネリストによる分科会が目立ちました。

そして、日本女性会議のバトンは、金沢から佐野へと渡され、いよいよ今年10月には第36回目となる女性会議が佐野で開催されます。いかに佐野らしく開催できるか実行委員、運営委員が一丸となり開催に向けて準備を進めています。そんな中、2月2日(土)に、「日本女性会議2019さのプライベート」が開催され、文化会館大ホールから溢れるほどの来場者が落合恵子さんの講演に聞き入りました。落合さんは自分自身の生き立ち、少女時代、母の介護、そして見送るまでのことを振り返り、「本当の強さとは他人の痛みを共感できること」「一人ひとりの人間はかけがえのない尊いものであり踏みにしてはいけない」など、人権に関することを交えてのお話でした。そして、「人生は一冊の本であり誰かがその人を思った時に開かれる」と締めくくっていました。

また、講演に先立ち「日本女性会議2019さの」の大会テーマ及び、男女共同参画に関する標語、作文の入賞者の表彰式が行われ、「日本女性会議2019さの」の前哨戦にふさわしいイベントとなりました。

＜日本女性会議 2019 さの運営委員会三部会長からこれからの一言＞



総務部会長 駒形 忠晴 さん

【部会長からひとこと！】

金沢大会は素晴らしく、分科会講師の話がためになりました。今後の抱負はよりよい活動ができるように目標金額の寄付集めを行います。日本女性会議の活動をご理解いただき協賛、寄付のご協力をお願いします。

＜現在までの活動＞

- ・大会テーマの募集・シンボルマーク・大会カラーの決定！
- ・協賛・寄付の募集…現在一丸となって、協力依頼をしています！
- ・大会スケジュール・参加費・会場の決定
- ・ニュースレター・ノベルティの作成、金沢大会で配布！
- ・のぼり旗・プロモーションビデオの作成！

【部会長からひとこと！】

さの大会では、「人生100年時代」がテーマとなっています。この時代をどう生き、次世代に繋いでいくか、全国からの参加者と共に考え、地域に活かしていける分科会・全体会・交流会にしたいと企画部会員みんなで頑張っています！



企画部会長 稲毛 明子 さん

＜現在までの活動＞

- ・全体会は、誰でも知っている、話しに入りやすい人とみんなで勉強できる人に絞って検討中！
 - ・交流会の規模は？アトラクションは？おもてなし部会と一緒に考えてみます！
 - ・分科会テーマについて、みんなで意見を出し合い、佐野らしいテーマを検討中！
- 現在は、各分科会の企画コンセプトなどをもとに、講師選定中！



おもてなし部会長
吉井 貴子 さん

【部会長からひとこと！】

佐野市の市民性であるやわらかい話し方を生かし、さの大会では親しみある挨拶ができるよう心掛けたいです。金沢大会にはなかったものがさの大会にはあり、佐野に来て良かったと思っただけのおもてなしができればいいと思います。

＜現在までの活動＞

- ・ボランティアガイドと協力して、市内体験・視察型観光（エクスカーション）を検討中。
- ・昼食は、学生レシピを採用して、地産地消をコンセプトに計画！
- ・ボランティアがどれくらい必要なのか、どんな場所にいるといいのか検討中！
- ・交流会の規模は？アトラクションは？企画部会のグループと一緒に考えてます！

日本女性会議 2019 さの専用ホームページ開設中！

詳細な情報はこちらをチェック♪

<https://jwc2019sano.jp/>

＜Twitter/Instagram/Facebook も同時更新中♪＞



魅力ある分科会のご紹介

さの大会では、前半5分科会、後半5分科会を実施予定。最大2分科会を聴講することができます。今、地域社会で課題になっているテーマを提供！

地域力

人口減少の中での地域活性化を課題に、新しい産業の創出や自治会の取組みなど、隠れている地域の良さや人材から今後の地域づくりを考えます。

健康

延びる平均寿命に対し、いかに健康寿命を延ばすことができるか。健康の維持やケアをすることで、男女が共に生きやすい社会について考えます。

グローバル

グローバル化が進む現代において、国籍や民族の異なる人々と交流していくには互いの違いを認め、共有していくことが必要です。地域からのグローバル化に伴う課題や未来について次世代と共に考えます。

居場所作り

学校や家庭に自分の居場所を見いだせない子どもたちが求める「居場所」。原因や現状から、なぜ居場所が必要なのか、地域全体で子どもたちを支えることについて考えます。

格差社会

6人に1人（2012年時点）、子どもが貧困に陥っている現代において、みんなが中流だと思っていた社会に実は大きな格差が生まれていた。格差拡大の実態から何ができるか考えます。

マルチステージ（働き方ワークシフト）

AIやロボットの進化により働く場に大きな変化が生まれ、若い世代は漠然とした不安を感じている。これからの働き方についてどのような心構えや準備、支援が必要か考え、幸せな働き方を考えます。

女性の参画

少子化、人口減少社会に直面している現代において、女性の活躍が必要です。特に政治分野における女性の参画は世界に対し遅れていることから、課題と今後について考えます。

マルチステージ（ライフシフト）

「人生100年時代」。画一的な生き方からマルチステージへの生き方によって変わってきている社会の中で、自分らしく生きるにはどうしたらよいか。「なりたい自分になるために」考えます。

子育て

子育てへの不安は程度の差こそあれ、産後間もなくなりやすいことから、妊娠期からの切れ目ない支援を考えます。またライフスタイルが多様化した現代において社会全体で行う子育て支援について考えます。

D V

パートナー間の暴力は男女共同参画社会の実現を阻害する大きな要因です。なぜ起きてしまうか、実態を知り、どのような取組や支援が必要なのか、体験や実践を交えた話を聴き、何ができるか考えます。



参加申し込みは
6月から開始予定！
楽しみだね♪

注…「マルチステージ」とは、今までは「教育」、「勤労」、「引退」の3ステージであったが、「人生100年時代」を迎え、様々な生き方や働き方が多様化したステージのことをいう。

「パレット賞」を受賞して

～平成30年度男女共同参画推進事業者表彰「パレット賞」受賞事業者に聴く！～

株式会社 ^{なみ}波 ^{さと}里 様 (写真中央左)
 株式会社 ^{まる}丸昌産業株式会社 様 (写真中央右)



◇評価ポイント◇

個々のスキルアップ支援、セーフティネットの充実、女性の人材育成、地域に根差した職場づくり、仕事と家庭生活の両立支援、研修制度の充実、子育てしやすい職場環境づくり などなど・・・各事業者様の様々な取り組みが評価されました！

株式会社 波 里

初めに「受賞してとてもうれしい」とコメントをいただきました。

特に社員同士のコミュニケーション作りを大切にしており、朝礼後、小グループに分かれ、世代を超えたスピーチ発表や若手を中心とした未来探索室の設置（社内報作成やレクリエーション活動を実施）を行い、働きやすい職場環境作りをしているとのことでした。

商品開発や品質管理など、女性の能力をいかに発揮してもらい、特に、EC（ネット販売）拡大に力をいれ、年々売り上げを上げているとのことでした。

最後に「女性は真面目な方が多いので、これからも力を発揮できるように今まで以上にやっていきたい」とお話しくださいました。

パレット編集員が取材してきました！

丸昌産業株式会社

「とちぎ女性活躍応援団会員」への登録や「男女生き活き企業」に認定されるなど、男女を問わない働きやすい環境作りに積極的に取り組みが評価されている企業です。

A I 化や機械化を積極的に導入したり、出産・育児などで退職した社員をまた雇用する再雇用制度など、それぞれが望む働き方や報酬を実現する「100人いれば、100通りの制度があってもいい」という考えのもと、柔軟な体制をとっているとのことでした。

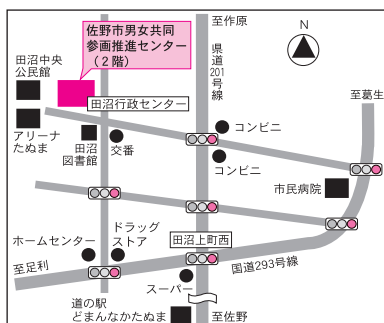
社長さんは「特別なことをしているわけではありません。企業として当たり前のことをしているだけのことです。人材は宝なのです。」とお話しくださいました。

パレット編集員が取材してきました！



【編集委員】

阿部 陽子 今井 美砂子
 岩永 秀彦 黒澤 千賀子
 中里 聖子



【編集後記】
 「さんちようする」。地元の小学校で押し花がき作りをした時のこと。まるで緊張感を楽しんでいるような満面の笑顔と出会えた。ピュアな心が忘れかけているものに気づかせてくれた。「人生100年時代」子どもたちとも語り、絆を結ぼう！
 また、やりたいことが見つかった。

パレット 第19号【2019年3月発行】
 編集発行 佐野市市民生活部人権・男女共同参画課
 〒327-0398 栃木県佐野市田沼町974-3
 電話 0283 (61) 1140 FAX 0283 (61) 1142
 E-mail: danjokakari@city.sano.lg.jp

男女共同参画に関する身近な情報や、市内で活躍する女性の情報をお寄せください。また情報紙「パレット」についてのご意見・ご感想をお待ちしております。